

AEDの個人所有等について



正和会
森田 哲哉 議員



質問 AEDの普及促進として、家庭や個人が所有しやすいよう購入費を補助する施策は考えられないか。

市長 本市では、貸出要領を定めイベント等へのAEDの貸し出しを行っている。個人所有は救命率の向上にはつながるが、所有へのニーズや費用面から補助制度は難しいと考

える。今後も講習機会の確保や設置箇所の周知等、啓発を進める。

市における平和事業の推進について

質問 市としての今後の平和事業の推進について伺う。

市長 「平和のつどい」で戦争を体験した市民の方の講演や生涯学習推進課の企画展示「戦争資料展」など、

様々な取り組みを行っているが、戦争体験者の高齢化により実相を伝える機会が減少しており、平和のつどいでは高校生が司会や意見発表を行うなど、次世代が平和を考える機会とするための転換を図っている。今後も市民一人一人が平和を願い行動できるように意識の醸成に努めたい。



▲生涯学習分野合同平和事業の様子

特定不妊治療の助成について



正和会
仲間 正司 議員



質問 令和4年4月より特定不妊治療が公的医療保険の適用対象となり、その後、令和6年度より福生市特定不妊治療費(先進医療)助成事業が開始された。その内容とこれまでの実績を伺う。

市長 本市では、子どもを望む方の経済的負担軽減を図るため、保険

診療である特定不妊治療と併せて実施した先進医療について、東京都の特定不妊治療費(先進医療)助成に上乗せして医療費の一部助成を行っている。都の助成が決定した方は、保険適用外の先進医療費用の10分の7について、15万円を上限に都から助成されるが、市は残りの10分の3に

ついて、1回の治療につき5万円を上限に助成する。実績は、令和6年8月1日時点で1名、3件分で計5万1350円を助成。実際の治療実施から都の承認まで時間を要することや、複数回の治療をまとめて申請する場合もあることから、今後、申請件数は増加するものと考えている。



第74回福生七夕まつりについて



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 今回の福生七夕まつりの評価や結果、所見等を伺う。

市長 5年ぶりに開催した民踊パレード、みこし・山車パレードなど、コロナ禍で見合わせていた各種イベントを全て再開し、盛大な福生七夕まつりが復活した。来場者数は38万5800人で、これは平成以降3日間の

人数としては最多。飾りつけや市民模擬店などがまちのにぎわいを創出し、七夕織姫コンテストなどのイベントも盛り上がる中、無事に3日間を終えた点でも、大成功に終わったと評価している。

郷土愛の醸成と民踊パレードについて

質問 一部の学童クラブや小学校

が民踊パレードに参加したが、子どもたちへの周知方法について伺う。

市長 今回の民踊パレードは5年ぶりの開催であるため、前回の参加団体には個別に通知と電話にて依頼を行った。参加のあった学童クラブと小学校も前回の参加団体だったため、同様に依頼しご参加いただいた。



▲福生七夕まつり民踊パレード

環境政策について



公明党
堀 雄一朗 議員



質問 連日市内でイノシシの目撃情報が出るが、本市の対策を伺う。

市長 イノシシの目撃場所は多摩川河川敷や河川敷近隣の公園で、人に慣れて警戒心がなくなり、恒常的に居つくことを心配している。そのため、通り道の可能性がある箇所の草木を刈るなど、生息地域を減少さ

せ、容易に人間の生活圏に近づけない環境の整備を進めていきたい。

子宮頸がん予防について

質問 5年に1回の検診で済み、費用が現行の細胞診の約半分で済むHPV検診の導入への所見を伺う。

市長 HPV検査単独法は、国の指針の改正で今年度から導入された。

細胞診単独法の2年に一度の検診に比べ受診者の負担軽減や受診率向上が期待できるが、偽陽性者が多く、医療現場の負担や期待される効果が得にくい等の指摘もある。市内の医療機関でも慎重な意見があり、実施する段階にないと考える。現行の検診を着実に実施し予防に努めていく。



第59回福生ほたる祭について



正和会
小林 貢 議員



質問 今回新しい形で実施した結果、見えてきた課題や節目となる第60回の開催の方向性を伺う。

市長 大成功に終わったと考えるが、一方で来場者数が想定をはるかに超え、ほたる公園が混雑した。また、蛍の羽化が早く、祭りの当日に飛翔する姿を十分にご覧いただけなかつ

た。今後、実行委員会で十分に協議し、さらにご満足いただける祭りとなるよう、最大限の支援を行いたい。

全国瞬時警報システム(Jアラート)について

質問 運用内容の概要等を伺う。

市長 Jアラートは、弾道ミサイル情報や緊急地震速報等、対処に時間

的余裕のない事態に関する情報を国民に瞬時に伝達するシステムで、地震や津波等は気象庁から、弾道ミサイル情報は内閣官房から、消防庁のシステムにより人工衛星等を通じ自治体に送信される。本市では、庁内の受信機で受信し、自動的に市内防災行政無線で放送を行っている。



▲福生ほたる祭の様子(ほたる公園)

親子交流及び養育費の受取支援について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問 共同親権が選択可能となることを含めた民法等の一部を改正する法律が成立され、親子関係の維持と子どもの福祉が一層保障されることが期待される。本市では親子交流の円滑な実施や養育費の確実な受け取りをどのように支援しているのか。

市長 母子・父子自立支援員等に

よるひとり親家庭相談、離婚による経済上の問題や養育等の悩み事がある方には、弁護士等の助言を受けられる東京都ひとり親家庭支援センターや、こども家庭庁の養育費等相談支援センターをご案内している。

空き家対策について

質問 本市の空き家解消の取組

みについて伺う。

市長 職員による現況把握のための調査や、空き家の所有者に対する適正管理の呼びかけを行うとともに、民間業者との協働による所有者向けの情報発信や、老朽化した空き家の所有者に対して除却に係る工事費用の助成を行っている。

